



# 学 園 通

練馬区立大泉学園中学校

平成 30 年 1 月 30 日発行 校長 晴佐久和彦

## 大切な「時間」

年が改まって、早一ヶ月あまりが経ちました。1月に限らずこれからの2月、3月にかけても時の流れの速さを毎年感じます。学校現場では進路決定、卒業式、そして年度替わりの準備といった到達目標が多くあり、それに向けて一気に取り組んでいくので、とりわけ時間の流れが速く感じられるのかもしれませんが。

そうした中、先週は大雪に見舞われました。一夜明けた火曜日の朝、「雪で学校の出入り口はどうなっているか」と心配して5時過ぎに家を出たところ、電車の遅れやバスの運休などで学校に着いたのは7時過ぎになってしまいました。すると、門から東昇降口まで通路がすでに出来ており、さらに1.2年生の昇降口目指して雪かきが進行中でした。主事さんはじめ先生たち、そして朝練習に登校した部員の皆さんが本当に献身的に雪をかいてくれていて、その奉仕の気持ちに頭が下がりました。そして体力のない私には真似できない中学生パワーには感心しきりでした。手伝ってくれた各部の皆さん本当に有難うございました。今回の雪かきのように、他の生徒のため、学校のためにと尽くす「奉仕」の心をもつことは自分自身の心の成長につながります。作業を終えて汗をぬぐう時に感じられる充実感をぜひ大切にしてください。

さて、冒頭「時間」について記しましたが、今、校内には、生活委員の人達が「時間を守ろう」と全校生徒に呼び掛けるポスターが貼られています。私も学校の基本方針として「あいさつの励行」と「時間を守ること」は常に訴えかけてきましたので、いい取組をしてくれていると嬉しくなりましたが、その中に「遅刻厳禁～その時間何に使う～」という言葉がありました。遅刻をしなくて余裕をもって教室に入れば、その分授業の準備などがしっかり出来るので、これは良い時間の使い方の一例と言えます。この「時間の使い方」というのはとても大切な課題ですので、もう少し深めて考えたいと思います。

古くから伝わる漢詩に「少年老い易く学成り難し 一寸の光陰軽んずべからず」という一節があります。おおまかに訳せば、若いうちから勉学に励まないと、すぐに年をとってしまい、多くのことを学べないで終わってしまう。わずかな時間も無駄にしてはいけないといった意味になります。私が若い頃はこの一節に触れて確かにそうだと同感はしましたが、それ以上に心に残ることはありませんでした。しかし、年を重ねていくと、この一節によって自分自身のこれまでのあり方が問われているように感じられてきました。そして「まだ学べること、成し遂げられることは何か」と真剣に考えさせられます。まだ若い皆さんですから、「時間」について切迫感というのは少ないかも知れませんが、過ぎてみると速いものが「時間」です。ぜひ悔いなく、納得のいく時間の使い方をして、日々、自分の力を伸ばして行ってほしいと願います。

今週からは2月（如月）に入ります。「きさらぎ」の語源は「衣更着」と言われていて、衣類をさらに着重ねるまだまだ寒い月と言えますが、日だまりの光に早春の暖かさが混じってくる季節でもあります。校庭は1週間経っても変わらず一面の雪ですが、いずれ雪解けの日は来ます。一人一人がそれぞれの春を確実に迎えられるよう、全校でしっかり取り組んでいきたいと思ひます。

# 道徳授業地区公開講座



第2土曜日である1月13日に、今年度の『道徳授業地区公開講座』を行いました。この講座は、道徳の授業を保護者や地域の方々に広く公開して、家庭・地域と連携して、道徳教育の在り方について、相互に理解を深めることをねらいとして、毎年行っているものです。



公開授業は、50名を超える方にご参観いただきました。しかし、授業の後の意見交換会には、残念ながら出席者は少なく、来年度以降、より多くの保護者・地域の皆さまにご参加いただけるよう、実施形態や日時の設定等、工夫をしていきたいと思えます。

各学年の授業内容（主題、資料名等）は、以下の通りです。



1 学年 資料名「伝統文化に夢をもって」  
出典：中学生の道徳「かけがえのないきみだから」  
主 題：我が国の伝統と文化の尊重  
＜内容項目 C－（18）＞



2 学年 資料名「おもかげ復元師」  
出典：中学生の道徳「かけがえのないきみだから」  
主 題：勤勞 ＜内容項目 C－（13）＞



3 学年 資料名「自分探しのチューニング」  
出典：中学生の道徳「かけがえのないきみだから」  
主 題：向上心、個性の伸長  
＜内容項目 A－（3）＞

## ～意見交換会より～

昨日と少しでも変われば・・・時間をかけてゆっくりと・・・

多すぎる情報の中で、ゆっくりと考え、何が正しいのかを見つめる時間・・・

道徳的な価値観を高め合い、実践力へ・・・



# 百人一首大会を開催しました！

1 学年主任 今成 美保

日本の伝統文化の一つである百人一首。生徒たちはその良さを感じながら、思い思いに好きな歌を覚え、取れる札を増やしてきました。国語科で2学期末からこの百人一首に取り組んできましたが、お正月には、ご家庭で取り組んだお宅も多くあったようです。(ご協力有り難うございました。)

百首覚えた生徒もいたので、そこまでの授業での判断で上級・中級・初級と分かれて実施しました。

上級班は各クラスより8人選ばれた人達で作られ(4人組×8班)、読み手の上の句の数文字で札を取る音が響き渡りました。前傾姿勢で緊張感と気迫が漂っていました。

中級、初級と進むにつれ、下の句まで読まないで札が取れない生徒が多くなりましたが、1人1人お気に入りの歌を必死で取ろうとしていました。映画の影響で「ちはやぶる」の歌は、ほぼ全班が、この最初の5文字を読む間に札を取り、歓声が上がりました。

この行事にかける思いが人一倍(クラス一倍?!)強かったD組が優勝しました。

終了後はPTA学年委員のみなさんのご協力により、お汁粉が振る舞われ、より心温まる行事となりました。たくさんの方々の見学、ご協力、本当に有り難うございました。



## 生活委員会 『遅刻』は『恥刻』

生活委員会では、学園中の生徒の生活改善に向けて、様々な取り組みを行っています。昨年11からはあいさつキャンペーンを、そして今月は、遅刻0キャンペーンを行っています。先日の生徒会朝礼では、生活委員から、次のような呼びかけを行いました。

「おはようございます。生活委員会です。みなさんのクラスではどのくらいの方が遅刻をしていますか？生活委員が集計したところ(予鈴の鳴る)8時20分までに登校していない人はクラスに平均5人程度いるようです。(※始業時間は8時25分です。)これは例年にくらべてもとても多いです。～中略～そこで生活委員では、遅刻をしない意識をもってもらうために合い言葉を決めました。『遅刻は恥刻』です。見ての



通り遅刻の“ち”が“恥”という字になっています。遅刻することはとても恥ずかしいことであるということを再認識してもらうために作りました。今日からこのようなポスターを学校に貼ります。ルールを守ることを意識して生活しましょう。」

ひとりひとりの「自覚」と、各クラスや学年での呼びかけによって、学校全体で、時間を守ることに對する意識を高めていきましょう。また、時間に余裕をもった行動をすることで、心にゆとりをもち、落ち着いた気持ちで学校生活を送ることができるとよいですね。

## 練馬区立中学校連合ダンス発表会



当日の発表の様子は撮影できなかったため、後日教室で、賞状を囲んで記念撮影をしました。

1月23日(火)、連合ダンス発表会が練馬文化センター大ホールで行われました。学園中からは、2年B組の女子が代表として参加しました。

タイトルは「親子」、子どもが生まれ、反抗期を乗り越え、お互いの愛情を知る物語を表現しました。親役と子ども役それぞれが、指先まで意識した動きで、感情表現豊かに踊りました。

学年発表会兼選考会以降、朝や放課後に、より完成度の高いダンスを目指し練習を重ねてきた2年B組女子のみなさん、お疲れ様でした。とても素敵なダンスでした。

## 練馬区教育委員会児童・生徒表彰

1月29日(金)、練馬区立生涯学習センターホールにて、今年度の「練馬区教育委員会児童・生徒表彰式」が行われました。

表彰の基準は、(1)「善行ならびに人命救助やこれに類する行為を行ったとき。」(2)「福祉活動、環境美化活動または地域活動を長期にわたり継続的に実践したとき。」(3)「クラブ活動・部活動等の対外活動・コンクール等において著しい成果をあげたとき。」(4)「その他表彰に値する行為を行ったとき。」となっています。

大泉学園中学校からは、今回、6名の生徒が表彰を受けました。表彰理由とともに、紹介します。なお、トランポリンで表彰された鈴木君は、東京都教育委員会児童・生徒表彰の被表彰者にも選ばれています。

1年	助川 悠真	サッカーで優秀な成績
2年	鈴木 星音	柔道で優秀な成績
2年	高山 愛斗	柔道で優秀な成績
2年	鈴木 蒼大	トランポリンで優秀な成績
2年	百合草凜太郎	太極拳で優秀な成績
3年	佐々木洋太朗	空手で優秀な成績

